

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月29日更新

事務事業名		結核予防事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	安武祐次
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	久保園郁子
	基本事業	44	病気の早期発見			所属班	健康推進班	(内線)	2133
予算科目	会計一般	款4	項1	目2	事業連番10366	法令根拠	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	成果優先度評価結果	⑥
								コスト削減優先度評価結果	⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	胸部レントゲン撮影より、結核を早期に発見する事業。①65歳以上の市民の方を対象に、菊池広域保健センターに委託し、養生園での撮影または、各地域のコミュニティを健診車で巡回する。②委託料は、1件あたり1,320円(デジタル化による金額の変更のため、24年度から変更となる。23年度までは、680円であった。)③健診時期は、6月～8月、10月～11月。昭和26年制定の結核予防法により健診の義務付けられていたが、平成17年度より結核予防法の改正があり、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律となった。
【業務の流れ】	菊池広域保健センターと委託契約の締結。対象者特定のための電算処理。対象者へ通知発送。通知不要者の入力。健診結果発送。要精密検査者への受診勧奨。請求支払い事務。
【主な予算費目】	需用費、役務費、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	法改正以前は19歳以上が対象であったため、毎年受診していた人から「毎年レントゲンをとらなくてよいのか」という問い合わせがあったため、生活習慣病健診受診時など、対象外の人にも有料で撮影できるよう機会を設けた。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	菊池広域保健センターでの撮影または、各地域のコミュニティを健診車で巡回してのレントゲン撮影を実施する。受診者数2393人。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 23年度同様に健診を実施。広報等で健診の周知を図る。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人 ア 受診者数 イ	予算の主な増減の理由 結核健診機器の更新(デジタル化)に伴う受診単価引上げによる委託料の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	65歳以上の方で、医療機関等でレントゲン撮影をする機会のない方	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)人 ア 65歳以上の住民で他に受診する機会のない方 イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	健診を受診することにより、結核を早期に発見し、早期治療を受けることができる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)% ア 要精密者の受診率 イ 結核の発見者数
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 健診を受診し、結核の発見者数と要精密者の受診率が向上することで結核感染者が発見できる。		総トータルコスト 全体計画 ～年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	人	ア	3,708	3,646	3,560	2,393	3,570	3,580	3,600	3,600	
	イ										
②対象指標	人	ア	5,647	3,646	6,000	2,382	6,000	6,100	6,100	6,200	
	イ										
③成果指標	%	ア	89	100	100	44.4	100	100	100	100	
	人	イ	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	2,522	2,996	3,190	2,136	3,396	3,400	3,400	3,400
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	5	1	6	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	270	145	320	280	320	320	320	320	
	(B)人件費計	千円	1,074	597	1,318	1,130	1,318	1,318	1,318	1,318	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,596	3,593	4,508	3,266	4,714	4,718	4,718	4,718	

事務事業名	結核予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 結核や健診受診の必要性について周知をしていくことで受診率の向上を図り、目標を達成できると考える。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 検診受診者の固定化がみられるため、長期未受診者の方が受診できる体制について検討が必要。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業費を充てているため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人件費で対応しているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 結核になる確率が高く、健診を受ける必要のある65歳以上の市民においては健診費用の負担はなく、それ以外の年齢の方で結核健診を希望する市民には、自己負担で健診の機会が確保されているため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 健診実施には専門的技術・知識を必要とするため、委託にて対応しており、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

健診の機会があることで、早期発見・早期治療、結核の集団発生予防にもつながる。結核や結核予防についての周知に努め、受診率や精密検査受診率の向上を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>市で実施の肺がん検診とは、目的・方法が違うため、現状のまま継続予定。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						